

採択課題の評価について

令和元年6月26日

研究評価委員会

(1) 評価の概要

放射線安全規制研究推進事業に採択された研究課題及び放射線防護研究ネットワーク形成推進事業に採択されたネットワーク事業（以下「採択課題」という。）については、年次評価、中間評価及び事後評価を受けるものとする。

年次評価及び中間評価は、毎年度実施する自己評価及び成果報告会における研究代表者からの報告内容を踏まえて、研究評価委員会が評価を行う。事後評価は、事業の終了後に実績報告書を踏まえて、研究評価委員会が評価を行う。

(2) 評価の位置付け

年次評価、中間評価及び事後評価の位置付けは以下のとおりとする。

- ・ 年次評価：毎年度、採択課題について実施するもの。
事業の進捗管理のために研究の実施状況について、自己評価を踏まえて評価委員会が評価し、次年度以降の研究計画について提言する。
- ・ 中間評価：研究期間が4年間以上の実施課題に対して、3年目に年次評価に替えて実施するもの。
研究の実施状況及び成果について自己評価を踏まえて長期的な視点から評価委員会が評価し、次年度以降の研究計画について提言する。
- ・ 事後評価：調査・研究期間の終了後に実施するもの。
委託事業として必要な成果が得られているか、実績報告書を踏まえて評価委員会が評価する。

(3) 評価の手順

課題の研究代表者から事前に提出された評価票（自己評価）（別紙1）及び成果報告会における研究代表者の報告内容を踏まえ、研究評価委員会の定める評価基準（表1及び表2）に基づき、各研究評価委員が評価を行い、評価票（委員による評価）（別紙2～4）を作成する。

研究評価委員会は各委員の評価票を踏まえて各事業の評価結果（総合評価及びコメント）を取りまとめることとする。

(4) 評価の公開について

- ・ 評価の透明性確保のため、評価基準については公開する。
- ・ 研究評価委員会の議事概要及び資料等については原則、公開する。

表 1 放射線安全規制研究戦略的推進事業評価基準
(年次評価及び中間評価)

評価の視点	評価項目	評価基準
評価時点までの研究の実施が研究計画に沿って行われているか	1. 実施体制（人員の配分、参画機関の役割分担、責任体制） 2. 研究期間・方法 3. 予算の執行	A: 妥当 B: 概ね妥当 C: 見直しが必要 D: 妥当でない
	1. 評価時点までの目標達成度 2. 評価時点までの研究成果（論文（投稿中のものを含む）、特許（申請中のものを含む）、学会発表等）	A: 高い B: やや高い C: やや低い D: 低い
今年度の進捗や達成度を踏まえて、次年度の研究計画は適切か	次年度以降の事業の研究計画の妥当性を以下の点に関して評価する。 1. 研究期間全体のロードマップについて 2. 次年度の実施計画（目標、方法、実施体制等）	A: 妥当 B: 概ね妥当 C: 見直しが必要 D: 妥当でない
過去3年の進捗を踏まえて、研究の目標が達成できる見込みか※	1. 研究期間内における目標の達成可能性	A: 達成可能 B: 概ね達成可能 C: 達成困難 D: 達成不可能
総合評価	上記の評価項目に関する評価結果を基に、総合的に評価。	A: 一層の推進を期待 B: 現状通り実施 C: 計画を修正して実施 D: 中止すべき

※中間評価時の視点（年次評価時は用いない）

表2 放射線安全規制研究戦略的推進事業評価基準
(事後評価)

評価の視点	評価項目	評価基準
評価時点までの研究の実施が研究計画に沿って行われているか	1. 研究目標の達成度	A: 目標を上回った B: 目標通り C: 目標の一部は達成 D: 目標の達成は不十分
研究成果の活用性及び有用性	1. 本事業における研究成果（論文（投稿中のものを含む）、特許（申請中のものを含む）、学会発表等）	A: 高い B: やや高い C: やや低い D: 低い
	2. 放射線規制及び放射線防護分野への貢献度	A: 高い B: やや高い C: やや低い D: 低い
研究成果の費用対効果	1. 研究コスト及び費用対効果	A: 高い B: やや高い C: やや低い D: 低い
総合評価	上記の評価項目に関する評価結果を基に、総合的に評価。	A: 非常に有用な成果が得られた B: 有用な成果が得られた C: 限定的ではあるが、有用な成果が得られた D: 有用な成果が得られなかった

放射線安全規制研究戦略的推進事業評価票
(自己評価)

(〇〇年度)

研究代表者名

研究課題名		研究年度	〇〇～ 〇〇年度
-------	--	------	-------------

I 研究の実施状況及び目標の達成度等に関する研究者による自己評価

1. 研究代表者による自己評価

放射線安全規制研究戦略的推進事業評価基準を踏まえて記載すること。

評価の視点	自己評価	コメント
評価時点までの研究の実施が研究計画に沿って行われているか	1. 計画を上回る 2. 概ね計画どおり 3. 計画を達成できない 4. 計画を達成できないが代替手段によって今年度の目標を達成した	
今年度の進捗や達成度を踏まえて、次年度の研究計画に変更が必要か*1	1. 必要ない 2. 軽微な変更が必要*2 3. 大幅な変更が必要*2	

エフォート： _____ %

※1：年次及び中間評価時の視点（事後評価時は用いない）

※2：研究計画に変更が必要な場合は、変更点と変更が必要な理由についてコメント欄に記載すること

2. 分担研究者による自己評価

(以下、上記と同様に適宜追加して記載)

II 評価時までの研究成果（成果発表、特許、データベース構築及びソフトウェア開発など）

--

Ⅲ 研究費使用実績（今年度中見込みを含む）

当該年度における予算の執行状況について記載すること。

年度当初から大幅な変更があった場合は変更点と変更理由についても記入すること。

間接経費の使用実績※についても可能な限り記入すること、記入出来ない場合はその理由を記入すること。

--

※間接経費の使用については「放射線対策委託費（放射線安全規制研究戦略的推進事業費）研究計画書作成要領」において、「放射線防護に係る研究開発環境の改善に使用されることが望ましい。」としている。

放射線安全規制研究戦略的推進事業評価票
(委員による評価)【年次評価用】

(〇〇年度)

評価委員名 _____

整理番号：

研究課題名			
研究期間		年間研究費	継続 最終年度
評価の視点	評価項目		評価基準
評価時点までの研究の実施が研究計画に沿って行われているか	1. 実施体制（人員の配分、参画機関の役割分担、責任体制） 2. 研究期間・方法 3. 予算の執行		A: 妥当 B: 概ね妥当 C: 見直しが必要 D: 妥当でない
	1. 評価時点までの目標達成度 2. 評価時点までの研究成果（論文（投稿中のものを含む）、特許（申請中のものを含む）、学会発表等）		A: 高い B: やや高い C: やや低い D: 低い
今年度の進捗や達成度を踏まえて、次年度の研究計画は適切か	次年度以降の事業の研究計画の妥当性を以下の点に関して評価する。 1. 研究期間全体のロードマップについて 2. 次年度の実施計画（目標、方法、実施体制等）		A: 妥当 B: 概ね妥当 C: 見直しが必要 D: 妥当でない
総合評価	上記の評価項目に関する評価結果を基に、総合的に評価。		A: 一層の推進を期待 B: 現状通り実施 C: 計画を修正して実施 D: 中止すべき
	(コメント欄)		

(注) ・評価基準欄は、別表1に従ってAからDのうちいずれかを○で囲む。

・コメント欄は、評価項目毎に課題の優れている点、問題点等について具体的に記入する。特に総合評価が「C」評価の場合は、見直すべき部分を記入する。

放射線安全規制研究戦略的推進事業評価票
(委員による評価)【中間評価用】

(〇〇年度)

評価委員名 _____

整理番号：

研究課題名			
研究期間		研究費総額 (中間評価時点)	
評価の視点	評価項目	評価基準	
評価時点までの研究の実施が研究計画に沿って行われているか	1. 実施体制 (人員の配分、参画機関の役割分担、責任体制) 2. 研究期間・方法 3. 予算の執行	A: 妥当 B: 概ね妥当 C: 見直しが必要 D: 妥当でない	
	1. 評価時点までの目標達成度 2. 評価時点までの研究成果 (論文 (投稿中のものを含む)、特許 (申請中のものを含む)、学会発表等)	A: 高い B: やや高い C: やや低い D: 低い	
今年度の進捗や達成度を踏まえて、次年度の研究計画は適切か	次年度以降の事業の研究計画の妥当性を以下の点に関して評価する。 1. 研究期間全体のロードマップについて 2. 次年度の実施計画 (目標、方法、実施体制等)	A: 妥当 B: 概ね妥当 C: 見直しが必要 D: 妥当でない	
過去3年の進捗を踏まえて、研究の目標が達成できる見込みか	1. 研究期間内における目標の達成可能性	A: 達成可能 B: 概ね達成可能 C: 達成困難 D: 達成不可能	
総合評価	上記の評価項目に関する評価結果を基に、総合的に評価。	A: 一層の推進を期待 B: 現状通り実施 C: 計画を修正して実施 D: 中止すべき	
	(コメント欄)		

(注) ・評価基準欄は、別表1に従ってAからDのうちいずれかを○で囲む。

・コメント欄は、評価項目毎に課題の優れている点、問題点等について具体的に記入する。特に総合評価が「C」評価の場合は、見直すべき部分を記入する。

放射線安全規制研究戦略的推進事業評価票
(委員による評価)【事後評価用】

(〇〇年度)

評価委員名 _____

整理番号：

研究課題名			
研究期間		研究費総額	
評価時点までの研究の実施が研究計画に沿って行われているか	1. 研究目標の達成度	A: 目標を上回った B: 目標通り C: 目標の一部は達成 D: 目標の達成は不十分	
研究成果の活用性及び有用性	1. 本事業における研究成果（論文（投稿中のものを含む）、特許（申請中のものを含む）、学会発表等）	A: 高い B: やや高い C: やや低い D: 低い	
	2. 放射線規制及び放射線防護分野への貢献度	A: 高い B: やや高い C: やや低い D: 低い	
研究成果の費用対効果	1. 研究コスト及び費用対効果	A: 高い B: やや高い C: やや低い D: 低い	
総合評価	上記の評価項目に関する評価結果を基に、総合的に評価。	A: 非常に有用な成果が得られた B: 有用な成果が得られた C: 限定的ではあるが、有用な成果が得られた D: 有用な成果が得られなかった	
	(コメント欄)		

(注) ・評価基準欄は、別表2に従ってAからDのうちいずれかを○で囲む。

・コメント欄は、評価項目毎に課題の優れている点、問題点等について具体的に記入する。